

4 事業の評価～事後のアンケート記述意見抜粋～

(1) 本日の発表について

<高校>

他校の取り組みが参考になりました。準備が大変かと思いますがこの情報交換会は続けていくと良いと思います。

活発な質疑応答があり、大変参考になりました。

若い世代の方の発表で、SSHや高校教育の現状をより身近に感じることができた。昨年に続くよい企画だと思います。

企画・運営ありがとうございます。年1回ではありますが情報の収集にはとても良い機会になっていると思います。毎年思いますが、SSH校OBの講演は生徒に聞いてほしいなと思います。

STAEMの質問に「教養」というキーワードがあった。その視点は今まで忘れていたので、参考になりました。加古川東、兵庫に共通してあった学校が育成したい生徒像のあたりが参考になった。

どの発表についても具体的な状況をお教えいただき大変参考になりました。質疑の時間も十分にあり、良かったです。状況が落ち着きより、様々な情報をざっくばらんに交換できる機会を願っています。

これまでのご経験からSSH活動の影響を分析されていて、高校での活動が今後の人生に大きく関わっていくこともあるということ、改めて実感させられました。スライド1枚目の各活動の影響度について、影響度が高いものは阪本様に限られたものなのか、何かこういう要素が含まれていた方がいいというように、一般化できるものがあるのか気になります。

全体的に経験を基にした部分と理論的な考察の展開があって納得したり、こういう考え方もあるんだと発見させられた講義でとても勉強になりました。特に学びのギャップに関してはこれからの生徒にとって何らかの形で伝えられたらと思います。

講演について高校時代の具体的な話が聞きたかった。高校以降の学びについての話は良かった(目標を見失うことがあるという話)加古川東のSTAEMの報告はとても参考になった。本校でもアレンジしてやってみたい。

本校で課題研究を行っているのですが、意欲的に研究する生徒、そうでない生徒に分かれています。3校のSTAEM教育の取り組みを参考にして指導していきたいと思います。

STAEM教育について生徒が自ら学びに向かう仕組みづくりを各校でとても工夫しており、大変感心を持ちました。

SSH活動によって生徒への効果をご自身の体験を踏まえてわかりやすく説明いただき、自分の学校でもそのような活動を取り入れたいと思いました。

SSH事業の成果について直接卒業生から聞く機会が今まで無かったので、新鮮でした。

これからのSSH事業に参考になる「とても良い内容で多くのことを学ぶことができました。ありがとうございました。

本年度SSHにエントリーする本校にとって、SSHの現場での全体像や具体的に生徒たちに還元できることが明確になり、大変有意義であった。

大変参考になりました。ありがとうございます。

非常に分かりやすい発表であったと思います。

様々な実物を通した実習の経験が学びのきっかけになる事が聞けて良かったです。

高校、大学、社会人での学びのギャップについて分かりやすく説明があり、SSH事業以外(授業など)でなにが出来るのかを考えさせられました。

学ぶ姿勢の転換について、まとめて頂いたのは参考になった。共感できることが多く、今後の生徒に還元していけるように頑張りたい。

自分の知らない知識、視点が多く聞きました。ありがとうございました。

SSHの取組やそれによって生徒が受ける刺激など、とても勉強になりました。

卒業生のお話、毎年とても参考になります。特に今回、高校時代の取組を丁寧に分析されていて、大変興味深いものでした。ありがとうございました。

今後の進路選択にSSHの活動が少なからず影響を与える。その与え方は難しく考えなくてよいのかもしれないと改めて思った。

新教育課程の導入、SSH事業の充実などで改善が求められる中、そのためのヒントやアイデア、実践例を沢山学ぶことができた。

講演は為になりました。本校の生徒に話をしていただきたい内容でした。

貴重な機会でした。各校各先生方の熱意並びにご苦勞がよくわかり身につまされる思いです。

このような場で刺激を受けることはとても大切だと思いました。

阪本氏のお話を伺い、寛容さは研究や社会実践に大変重要であると感じました。ありがとうございました。

非常に濃い内容の良い場でした。

STEAM教育に関しての3校の取組が大いに参考になった。今後の更なる発展に期待したい。

各校ともArtsの取り扱いに苦心している印象を受けた。理系以外を理系といかに融合させるかと考えている限りは抜本的な解決は難しいのかもしれない。究極は文系・理系という垣根なく全校生同一カリキュラムなのではとも考えた。

専門教育と基礎教育とのバランスや連携が課題であり、それを常にアップデートしていく意識が大切だと感じました。

<その他>

自分が高校生だった当時と比べて、各高等学校の教育の方針、内容が大きく変わっており、驚きました。またAIやSDGsなど、最近の日本で課題になっている事を高校で扱っており、教育の進化を感じます。

SSH活動の本質をよくとらえておられ、これからSSHのSAとして助言するうえで大変役に立つと思います。

自主的に勉強することを継続することが重要であることが一番必要なことと思っている。生徒たちにこれをどのように認識させるかが問題である。良く出来る人の考えをどう生徒に教えて身につけさせるかを考えたい。

非常に優れたプレゼン。SSHの意義を時間をかけて考えてもらったことがよくわかった。経緯を表します。大学、大学院、企業の役割を考えるのに非常に有用

説明も分かりやすくパワーポイント、資料も揃っていて良かった。各講義とも主旨をよく理解され、質疑のやり取りも良かったと思います。

基調講演の阪本様プレゼン大変参考になりました。

各高校の先生のご苦勞が伝わってきました。高い志を持った生徒さんが大学に入ってがっかりしないようにすることが大学のすべきことだと感じました。生徒さんが受け身にならないよ教育は必ずその先に役立つことと思います。

SSHの本質となる発表であったと思います。SSH教育の成果として定量的な指標化が難しいと思いますが、本発表が成果であると思います。STEAMとSSHのリンクする部分があると考えられますので、ぜひ継続した検討をお願いします。

SSHの活動が生徒の人生に大きな影響を与えていることを実感でき、日頃指導されている先生方にとって良かったと思います。

高校の取り組み、ニーズを知れてよかったです。

(2) 企画全体に関して

<高校>

勉強になることが多く、良い時間となりました。

普通科高校から約4年離れています。SSHやATEAMなどの取り組み事例を知る機会として重要な会だと思っています。

5分でもいいので後半換気するべきだったと思います。(早く終わればと思いますが)

やはり、各高校の発表時間が短い。前半の卒業生の講義を45分程度にして各校の発表を30分/校くらいにしてはどうでしょうか。

STEAM教育というテーマがはっきりしており、良かったです。

他の学校の取り組みが聞けるのは、非常に良い機会だと思った。各校たくさんの取り組みを実践されているので、1~2つのテーマに絞ったもっと1つ1つの内容を細かく聞く事ができるような会であっても面白いと思った。

STEAM教育についてどのような取り組みをしているのかなど、よく分かりました。一般校での活用(運用)がどこまでできるか考えさせられました。

STAEMについて理解は進んだが、まだ今ひとつなので、学んでみようと思う。

SSH、STEAMともに教員の能力や負担の多さがきになりました。部活動や授業との両立は大変困難ではないかと思います。

文理融合やSTEAM教育がキーワードとして、出てきて、今後注目していかないといけないと思いました。

STEAM教育では、県内3校すべての実践が聞けて良かったです。

年々進化している取組内容について知りたい

特に最後の蛭名先生のお話は今後の在り方を考える上で指針になると感じました。

3校のSTEAM教育の取り組みのポイント、各校の工夫が紹介され参考になりました。

報告や講演であればWeb、Zoomなどでいいかなと思いました。数年前は教員間や企業の方と交流があったので楽しかったです。

冬にも交換会があれば取り組みの結果が聞けるかなと思うので、ご検討いただけたらと思います。

STEAMについての取組を初めて知りました。今後、取り入れていければと思います。

各校の報告でなくテーマ(STEAM)を決めての発表が良かったと思う。

いろんな方々の様々な意見を直接聞く事が良かった。

例年に比べて意欲的な先生方が集まっていたと感じた。このメンバーならグループミーティングも効果的だなと思った。

卒業生による講義は非常に面白いと思います。是非続けて欲しいです。

SSH校OBの視点からみたSSH事業の効果、STEAM教育の話のどちらも分かりやすく、日頃の取組の改善に有効と感じた。

県内学校の動向が理解できた

私も含めてですが、もっと広報してもっともっと多くの先生方にご参加いただきたいです。

他校の取組を聞けるのはありがたいです。

難しいが事前にアンケート調査等で聞きたい内容の確認ができればありがたい。

STEAMが何の略なのかさえ分かっていなかった自分にとってはあらゆる実践が新鮮であった。ただ、今回報告された取り組みを実践できる学校は県下に1割もない。兵庫型STEAM教育、簡単にはいかない印象を持った。

各校、取り組みが進んでいて驚きました。学校間ギャップが大きいと感じました。

<その他>

講演とSTEAMの組み合わせは良かったと思います。

良く準備された企画で感銘を受けた。

現場のSSH先生の生の声があり難かったです。

各校での連携、情報発信の強化がのぞまれると感じます。

SSH、STEAM、(SGH)それぞれの目標や強み、共通点を整理することができたと思います。

(3) 高校における人材育成に関して、このようなサポートがあればよいということ

<高校>

STEAMライブラリーのような「講師バンク(講師、所属、内容の一覧)」があれば良い。

もっと多くの企業が参画してくれれば会の雰囲気も変わってくると思います。今は高校関係者ばかりなので、人材育成を高校、大学、企業、一体で行う必要がある。

今本校に欠けているのはフィールドワークなので、地学、生物系のフィールドワークがもっとあればと思います。できれば阪神から近場で。

指導案の公開など、別の学校でも同じような授業を実施できるような情報共有のサイトなどがあると嬉しいと思った。

外部講師をどのように招き入れればよいか。(費用もからめて)

若い教員のSSH指導の方法の学び、若い教員の育成、意欲はあるが、何をしていけるのかわからないようだ。ベテランが助言したり、一緒に取り組んだりしているが、もって経験をつむ機会があれば。

県で外部講師の紹介があればありがたい。

大学教授の講義や大学の研究室に行って研究する機会があるとありがたいと思います。

人材育成について、協力していただける企業や大学との交流の場があればありがたい。

以前に行っておいたようなグループディスカッションも機会があれば行ってもよいかも。

産学官連携のためのサポート体制の構築

大学、企業等の外部の方からの指導を入れていただくことは生徒はもちろん教員も刺激を受ける。

企業様のインターンシップ型特別講義の企画に参画頂けたらなと思っています。(現場見学、体験ではなく、大学生の長期研修のような形の研修)

皆でやってみるということでいうと、評価とか公文書の書式、フォーマットなどは共有できると、文書作成にまわる時間をプログラム充実に使える気がします。

先生方対象の公開授業、公開講座を多数開催してほしいです。各校が独自で申込みではなく、そのようなマネジメントをお願いしたいです。文系の先生方への支援も考えたいし、考えていかなければならないと感じておりますし、サポートもしていただければと思います。

トライ&エラーが許される。自らの学びが無限にできる環境(問題意識を持ち続け、改善しようとし続けられる)

Zoomなどで部活動で相互に生徒交流や発表会ができそうです。

実験等の費用でSSH以外での分野をカバーできる仕組みが欲しい。特別非常勤講師の活用をもっと簡単にしてほしい。探究に関わる人材(教員)枠を確保してもらいたい。

他校はどのようなのか分からないが、神戸高校での発表を聞く限り、発表の技術が低すぎると思っている。発表・資料づくりについてであれば助言できそう。

教員の意識改革につながるサポート。SSHの視点を普通科の生徒に広げていくことも大切だが、教員に広げていくことがより大切であり、課題であると思います。高校生の人材育成も大切であるが、教員の人材育成も重要ではないかと思う。

<その他>

今回の講演で示されたSSHに関する考え方は本質についており、この内容をせっかくですからSSHの生徒に伝えられてもよいのではないですか？我々もSAとして日頃の指導の「糧」としたいと思います。

課題研究/自由研究は重要。そのための道具を効率的に準備できる「よく知っている人」

STAEM事業、3校の説明を聞き、全体として以前の大学教育の教育課程で求められようとしてきたものと思えてきた。その分、昔の高校教育のいくらかが塾や予備校にそして大学の専門課程が弱くなり、大学院へ依存するようになってきている。中高大の教育体系を見直す時期にきているのでは。私立も含めて大学の数が多くなり、本来の大学とは言えない。(外国と比較して)

是非JSECへのエントリーを通じて、研究のブラッシュアップの機会にして頂けたら幸いです。

少人数の単位となると思いますが、研究室の紹介、研究室での研究体験を受け入れることは可能であると思います。(現に行われていることですが)ただ、世の名イベントであふれてしまっていると感じます。飽和している感もあります。興味の対象が多種多様であるので、いろいろなものがあり、自由に選べることは重要ですが、難しいと思う面もあります。

規制の内ですることが限られていると思いますが、教育機関以外を活用することで、域を出た挑戦的取り組みを期待します。

大学院生による研究サポートを検討中。

(4)兵庫「咲いテク」事業全般について

<高校>

アンケート等もGoogleForm等にしてほしい。

いつもありがとうございます。

五国連携プログラムが2学期に集中してなかなか生徒の参加ができずにすいません。咲いテク委員会の開催時期回数は適切だと思います。

お疲れ様です。ありがとうございました。

今回の会のように情報共有、活用できる場面や共有できるシステムが今後ふえていくといいなと思いました。自分の学校だけでなく、良い取り組みはどんどん広げていこうという気持ちで取り組んでいきたいです。

生徒だけでなく教師のスキルアップもできているのでとてもありがたいと思っています。企画・運営にかかわる先生方、ありがとうございます。

大変勉強になりました。ありがとうございます。

SSH担当となって年数が浅いです。他校の取り組みを参考にしながら、自校の取り組みに活かしていきたいです。

このような情報を得られる機会は貴重なので是非とも継続していただきたいと思う。

この会に自校の若い先生方を誘うのですが、なかなか来てもらえません。残念です。

STEAMなど各校の先進的なことをより手軽に知るツールがあればHP活用は知っていますが、slackなどのツールが増えているので。

いつもお世話になっております。様々な取り組みがトータルで理数教育に貢献しているのでは、と感じました。

企画・運営していただいた方々、ありがとうございました。

14:30SSH各校からの部分を「STEAM教育実践校として」と訂正していただきたかったです。しかしながら、貴重な話をたくさん聞いてとても満足です。ありがとうございました。

いつも大変な業務をありがとうございます。

現在、神戸高校が中心だが、もしSSHの枠が取れてしまったばあいの運営主体をどうしていくのか方向性が知りたい。本来は県教委が主体であるはず。担当部署をはっきりさせてほしい。

「研究」「先行実施」新しい事を始めるうえでは不可欠だとは思いますが、「豊岡なら加古川東なら兵庫ならそんなことやれるやろな」という印象。研究指定対象校が特殊すぎて凡庸性が低そうな成果が出そう。教育格差を含めて「特色」なのか・・・。

若手教員を積極的に参加させる(校長からのアドバイス等で)神戸高校で教科指導と共に教科指導以外の指導力も向上させる必要があると思う。若手教員が自分を高める機会が少ない環境が気の毒である。どんどん神戸の若手教員を参加させるシステム・雰囲気を作る。

<その他>

このような情報交換会を継続していただくことで、SSHのプログラムを発展して行ってほしい。

今の進め方で良いのでは

STEAM事業を中途半端にならないようSSHとバランスをとって進めていただきたく宜しくお願い致します。

リモートが続く中、貴重なリアル交流の場を頂き、本当にありがたい次第です。

指定校14校が集まり、県全体に向け様々な企画や情報が提供できていることが兵庫県の強みだと思います。今後もこの事業を発展されながら、継続していきたいと思います。

当課宛にも情報を下さい。